

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

情報革命で人々を幸せに。世界に最も必要とされる会社になることを目指す。

5G人口カバー率
95%超

② 中長期の経営戦略

1. 通信事業の成長強化

5G展開・スマートフォン契約数拡大・ARPU向上。Yahoo! JAPAN・LINE・PayPayとの連携強化でユーザーニーズに対応。

3. メディア・EC事業拡大

Yahoo! JAPAN・LINE・PayPayの国内最大級ユーザー基盤活用。LYPプレミアム・LINEアプリリニューアルでクロスユース促進。

2. エンタープライズDX/ソリューション

企業デジタル化ニーズに対応。生成AI関連ソリューション開発・提供。2024年9月SBテクノロジー完全子会社化で高付加価値サービス強化。

4. ファイナンス事業成長

PayPayのMTU増加・決済単価向上。2025年2月にPayPay証券子会社化完了。銀行・証券サービス強化を推進。

③ 対処すべき課題

① セキュリティガバナンス強化

- ・ LINEヤフー：2023年11月不正アクセス情報漏洩。2024年3月・4月総務省行政指導…
- ・ 2024年11月LINE不具合で2025年3月総務省行政指導。再発防止策推進。
- ・ 親会社として定期的リスク評価・緊急時連絡体制強化など実効的ガバナンス確保。

② デジタル化対応と人材確保

- ・ 企業・行政のデジタル化が必須に。デジタル人材のリスク・採用で高付加価値ソリューション提案。
- ・ 生成AI出現による変革スピード加速への対応。

③ 次世代社会インフラ構築

- ・ AI加速度的進化によるデータ処理・電力需要急増に対応可能なインフラ整備。
- ・ 2023年度～2025年度中期経営計画で事業基盤再構築推進。

面接で使えるポイント

- ・ 情報革命で人々を幸せにするという経営理念のもと、通信・エンタープライズ・メディア・EC・ファイナンス事業で企業価値最大化…
- ・ 2032年3月期末までに特定基地局でサービス開始予定。次世代社会インフラ提供企業を目指す長期成長戦略。
- ・ 生成AI領域に注力。2025年2月OpenAI提携発表。Sarashina開発など複数LLMのマルチモデル戦略推進中。

証券コード 9434

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

－（推移を描ける期数の開示がありません）

暗記する数字3つ

連結売上高
7.04兆円営業利益率
14.8%財務健康度
55点 /100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 62.3（当サイト算出の参考指標）

要するに
ソフトバンクグループ株式会社の子会社であり

主力事業・セグメント

- ・Consumer 43.4%
- ・メディアEC 23.7%
- ・Enterprise 14.0%

強み・特徴（公開データから）

- ・連結売上高7.04兆円の大企業
- ・営業利益率14.8%の安定した収益性
- ・将来性評価は晴れ時々曇り

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

平均年収
871万円

情報・通信業内 62位/592社

平均年齢
42.0歳

情報・通信業内 111位/593社

平均勤続
14.8年

情報・通信業内 39位/593社

女性管理職
10.9%

情報・通信業内 244位/373社

男性育休
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: 独自開発「ヒナタオ軽量接着工法」でソフトバンク株式会社の次

